

## 下水道4事業の経営戦略について

### [背景]

人口の減少による使用料収入の減や下水道施設の老朽化等による維持費の増により、下水道事業の経営は一層厳しくなることが予想されます。その対策の一つとして下水道事業の経営戦略を策定し実行していくことにより、将来にわたって持続的かつ安定的な経営が求められています。

### [計画期間]

令和7年度～令和16年度の10年間とし、中間年に見直しを行います。

### [歳入]

使用料改定は、以前は概ね4年ごとに行っていましたが、令和元年10月に消費税率改定による改定を行なって以降は新型コロナの感染症拡大の影響を受け実施していません。

本戦略では、使用料改定による増は見込んでおりませんが、社会情勢の変化も考慮しながら定期的に改定の必要性を検証します。一般会計繰入金は、国が示す繰入金の基準だけでは収支の均衡が図れないため、必要に応じて基準外の繰入を行います。

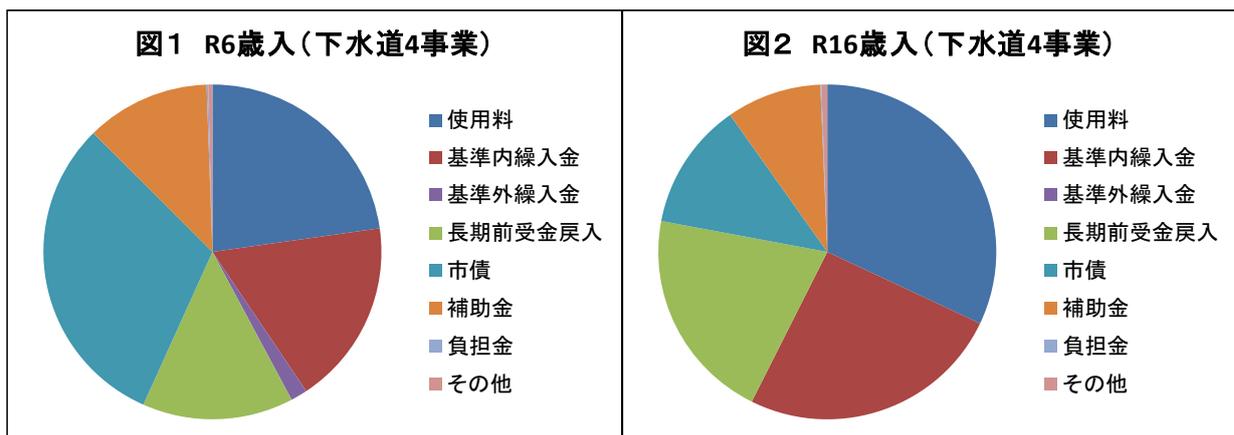


表1 歳入

(単位：千円)

年度	使用料	基準内繰入金	基準外繰入金	長期前受金戻入	市債	補助金	負担金	その他	計
R6	740,171 22.75%	581,751 17.88%	52,398 1.61%	470,791 14.47%	1,003,577 30.84%	387,050 11.90%	4,952 0.15%	13,046 0.40%	3,253,736
R16	704,106 32.04%	556,921 25.34%	0 0.00%	452,303 20.58%	270,000 12.28%	200,000 9.10%	2,100 0.10%	12,391 0.56%	2,197,821

※ 数値等は、下水道4事業を合算したもの。以降の図表も同様。

**[歳出]**

処理場の再構築については、令和11年度まで魚津市下水道ストックマネジメント計画を延長し工事を進めていく予定です。

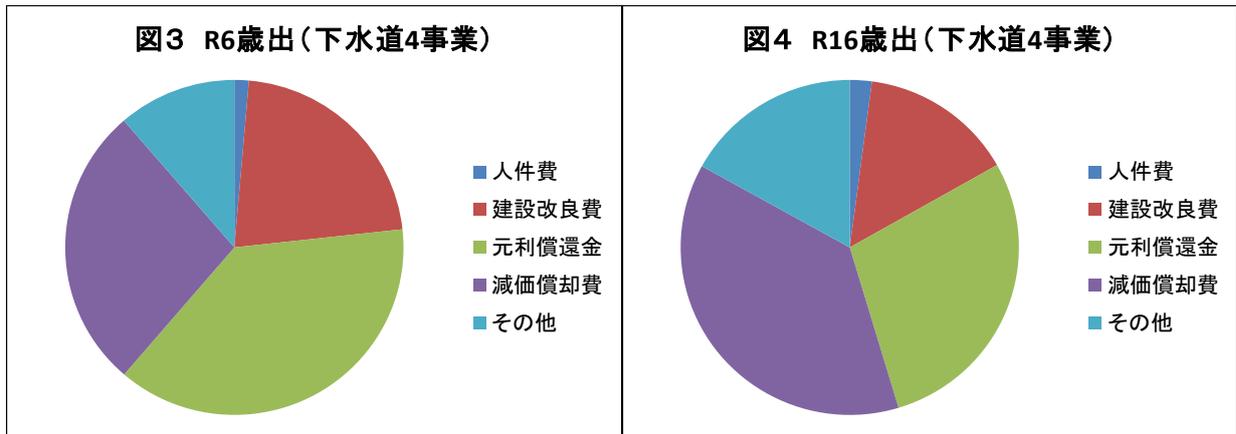


表2 歳出

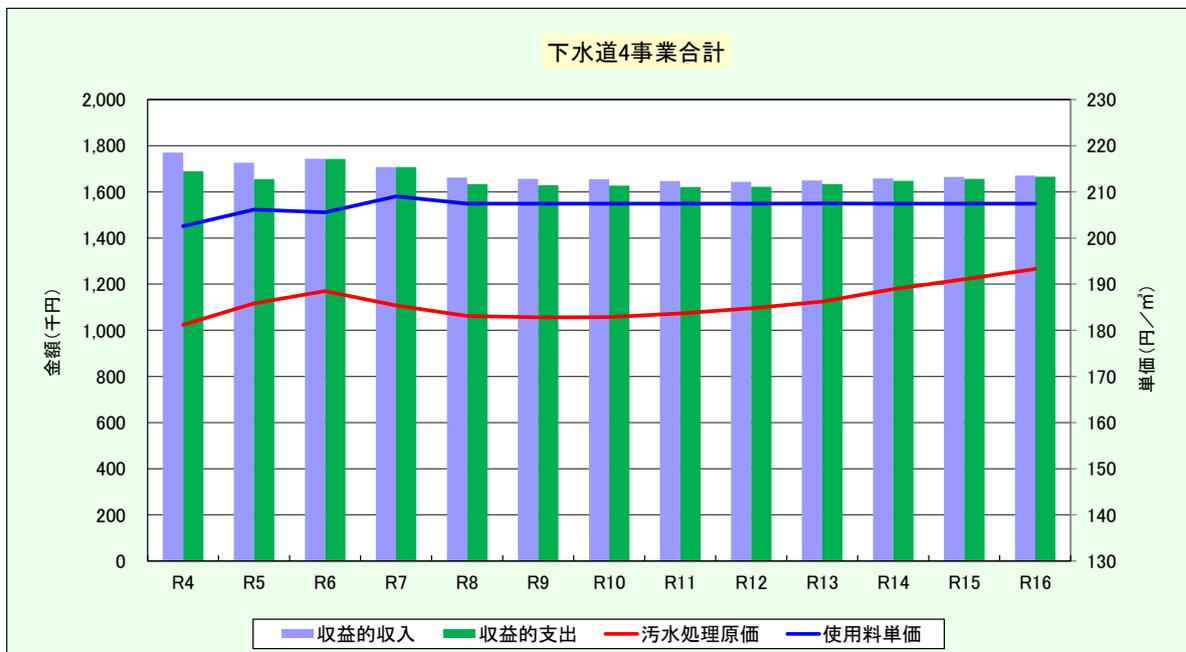
(単位：千円)

年度	人件費	建設改良費	元利償還金	減価償却費	その他	計
R6	53,105 1.4%	844,897 21.9%	1,467,199 38.0%	1,056,069 27.4%	437,288 11.3%	3,858,558
R16	57,089 2.1%	400,000 14.7%	775,289 28.5%	1,024,958 37.7%	460,454 16.9%	2,717,790

**[収益的収支の見通し]**

当面、収益的収入は収益的支出を上回り、使用料単価は汚水処理原価を上回ります。

図5 収益的収支の推移



**[効率化・経営健全化の取り組み]**

経費削減、未接続世帯訪問、下水道の啓発、ストックマネジメントや特環、農集処理区の統廃合などを行います。また、現在の包括的民間委託を含めた更なる民間活用などについて検討を行います。

市民ニーズの把握に努め、新たな経営戦略に盛り込むなど、これからの下水道事業に反映させていきます。